

2020年6月22日

第41回「発展途上国研究奨励賞」（2020年度）表彰作品決定について

ジェトロ・アジア経済研究所は、2018年10月～2019年9月の1年間に公刊された図書、論文など発展途上国の経済、社会などの諸問題を調査、分析した著作37点の中から次の二つの著作を「発展途上国研究奨励賞」表彰作品として決定しました。

澤井 充生 著 『現代中国における「イスラーム復興」の民族誌：変貌する
ジャマアアの伝統秩序と民族自治』（明石書店）

細田 尚美 著 『幸運を探すフィリピンの移民たち：冒険・犠牲・祝福の
民族誌』（明石書店）

「発展途上国研究奨励賞」は、途上国に関する社会科学およびその周辺分野の調査研究水準の向上と研究奨励に資することを目的として、昭和55（1980）年度に創設し、今回で第41回目の表彰です。37点は大学や出版社等から推薦されたもので、田中明彦 政策研究大学院大学学長を委員長とする選考委員会が選考し、ジェトロ・アジア経済研究所が決定しました。

なお、同表彰式を7月1日（水曜）午後5時よりオンラインにて開催し、受賞者による講演を行います。

担当部課：ジェトロ・アジア経済研究所 研究支推進部 研究イベント課
Tel：043-299-9536 Fax：043-299-9726

資 料：第41回「発展途上国研究奨励賞」（2020年度）

以上

第 41 回「発展途上国研究奨励賞」(2020 年度)

表彰作品

澤井 充生 著 『現代中国における「イスラーム復興」の民族誌：変貌するジャマアの
伝統秩序と民族自治』 (明石書店)

文化大革命終了後の改革・開放政策により、1980 年代以降、中国各地で「イスラーム復興」が開花する。本書は、それに伴う清真寺を中心とするジャマアの秩序形成に見られる変容と、共産党主導の国民統合とムスリム少数民族との政治力学について考察する。

細田 尚美 著 『幸運を探すフィリピンの移民たち：冒険・犠牲・祝福の民族誌』
(明石書店)

フィリピン国民の 1 割が国外で働いていると言われるが、彼らの移動は経済的な理由だけで説明可能なのか。同国の歴史的・地域的背景を明らかにしながら、「幸運探し (サパララン)」のために移動する人々の姿を描き出し、労働移動を捉える新たな側面を提示する。

推薦著作 単行書 37 点 (重複分等除く)

選考委員会

委員長	田中 明彦	政策研究大学院大学 学長
委員	上田 元	一橋大学大学院社会学研究科 教授
	大塚 啓二郎	アジア経済研究所上席主任調査研究員
	栗田 禎子	千葉大学文学部 教授
	藤田 幸一	京都大学東南アジア地域研究研究所 教授
		(以上 50 音順)
	深尾 京司	アジア経済研究所長

表彰式および受賞記念講演 2020 年 7 月 1 日 (水) 17:00 ~ 18:15 (予定)
場所: オンライン